

並木 二よみ のライフプラン

将来なにになりたいか?
 インクルーシブ遊具開発者
 その理由:
 いろんな子どもが一しょに楽しめる遊具を作りたいから

夢をかなえるまでのスケジュール

西暦(年)	年齢(学年)	夢をかなえるために努力すること	努力するために、なににお金がかかりそうか
2022年	8才(小3)	いよいよ公園に行き、お話を調べる	かからない
2023年	9(小4)	留学のために英語の勉強	英会話教室の授業料
2024年	10(小5)	ガールスカウトでSDGsについて学ぶ	ガールスカウトの会費
2025年	11(小6)	パラスポーツを体験、学ぶ	
2026年	12(中1)	中学に入学	入学
2027年	13(中2)	よく業体馬会で公園を語り、お話を調べる	
2028年	14(中3)	留学先の国について調べて高校を志す	
2029年	15(高1)	インクルーシブが好きなヨーロッパの高校に入学	入学、授業料
2030年	16(高2)	ヨーロッパの社会でインクルーシブについて学ぶ	授業料、生活
2031年	17(高3)	ガールスカウトリーダー最終冬年として活動振り返る	↓
2032年	18(大1)	大学に入学	入学、授業料
2033年	19(大2)	外国へ行って行って色々な公園を見て調べる	授業料
2034年	20(大3)	インクルーシブな都市や安全工学を研究する	↓
2035年	21(大4)		↓
2036年	22(社会人)	公園を語り、お話を調べる会社に就職	
2037年	23	遊具の作り方を学ぶ	
2047年	33	みんなが楽しめるインクルーシブな公園を作る	

※最後の行は、荷職の時にならなっていたいかな、自分で好きな年を入れてみましょう!

みんなが一しょに安全に楽しめる遊具を!

筑波大学附属小学校 三年 並木 暦

緑がまぶしい広々とした公園の砂場で、子どもたちがわいわい砂のお城を作っている。車いすに乗った子どももいる。みんな笑顔。誰もが楽しめる遊具がある公園。私はこんな公園を作るインクルーシブ遊具の開発者になりたい。図書館でかりたSDGsの本を読み、障がいのあるなしにかかわらず、みんなで一しょに遊べる遊具があることを知り、私も作ってみたいと思った。

私は毎日行く近くの公園で車いすに乗った友達が遊んでいる姿を見たことがない。不思議に思い近くの公園をよく見ると、急な階段でしか登れないすべり台を見つけた。一方、司書の方に教えてもらった遠くにあるインクルーシブ公園に行くと、だれでもトイレまで点字ブロックがあるスロープで行けるバリアフリー設計だった。水飲み場には、背の低い子どものための台や、車いすに乗ったまま使えるよう足を入れる

空間があった。すべり台の下には、多くの人とパニックになることがある子どもが、クールダウンできる場所があった。色弱の人も見わけやすい、一つのパネルを動かすと周りの色に重なって別の色がでる仕掛けもあった。こんな公園を、私はもっとたくさん作りたい。

そのために、まず色々な障がいを学び、みんなのふだの生活を知らりたい。そして、どのような工夫がされた遊具が安全に楽しめるのか、利用者の声を取り入れて開発したい。高校では、インクルーシブの取り組みが進んだヨーロッパに留学し、多様な文化を体験しながら公園や街をよく見る。そのけいけんを生かして、大学では、インクルーシブな都市計画と、安全工学について研究する。この夢に向けて、私は今、英語の勉強と、ガールスカウトでのSDGs活動にはげんでいる。